

平成30年度  
第3回堺市堺区区民評議会  
会議録

行政資料番号 1-C8-18-0141

平成30年 第3回堺市堺区区民評議会 議事録

開催日時	平成30年 8月30日（木） 午後6時00分から午後6時55分
開催場所	堺市役所 本館3階 大会議室1・2
出席委員	岡田会長、川上副会長、奥野委員、貴志委員、北野委員、隈元委員、間宮委員、矢本委員、湯川委員
事務局職員	堺区役所 西本区長・泉森副区長・福田保健福祉総合センター所長 大黒企画総務課長・藪課長補佐、岩野主査、川瀬主査
議 題	1 開会 2 議事 「働きやすい環境を整備し、起業しやすいまちづくり」について 3 閉会
資 料	資料1 前回までの振り返り 資料2 先進事例市幸報告 資料3 堺区区民評議会モデル事業

議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
	<p><b>1. 第3回堺市堺区区民評議会 開会</b></p> <p><b>2. 議事</b>  「働きやすい環境を整備し、起業しやすいまちづくり」について</p>
岡田会長	<p>第3回の区民評議会の審議に先立って、前回6月に開催しました第2回までの審議について振り返りを行いまして、審議を進めていきたいと思ひます。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (川瀬主査)	<p>資料1をもとに前回までの振り返り。</p>
岡田会長	<p>振り返りをいただきましたが、何かご意見ありますか。</p> <p>前回から9月開催第4回まで3回にわたって基本的な方向性の、「地域力の強化」「働きやすい環境の整備」「郷土愛の醸成」のテーマ別に審議をしていきます。本日は2つ目の「働きやすい環境を整備し、起業しやすいまちづくり」について議論したいと思ひます。</p> <p>それでは、今回のテーマに関係した視察について事務局より報告をお願いします。</p>
事務局 (川瀬主査)	<p>事務局より、資料2（北浜テラス（北浜水辺協議会）視察）の説明。</p>
岡田会長	<p>今回の北浜テラスの視察については、間宮委員に調整をいただいております。間宮委員から補足等ございますか。</p>
間宮委員	<p>北浜テラスの特徴としては、民間主導で協議会をつくり活性化も考えながら、その地域で起こっていく問題など色々なことを含めて協議をしています。この川床テラスを設置しているオーナーやお店の方は必ずその理事会に入らないといけないということもありまして、一見すると表面的にはすごく華やかですが、皆で月に1回、グループ会議</p>

	<p>などは2週間に1回必ず集まって全員で協議を重ねて運営していることは、なかなか視察などでは見えてこない地道な活動であります。私は実際に一緒に活動をしていますが、やはり何かをなし遂げていこうと思うと必ず色々な問題が出てくると思います。それを行政の力を借りずに自分たちで、地域内で解決して進めていくというのがすごく特徴的ではないかなと思います。</p> <p>堺にも言えることですがけれども、やはり、大阪というのはもともと河川からまちがにぎわってきたのですね。それが徐々に水路から陸路に変わって、川自体が衰退しさびれてきた。でも、もともとそこにはすばらしい資源があった。それを今の時代にこういうふうにはテラスを出せばいずれまたにぎわいが出てくるのではないかなという。何も初めからこういったものがつくられたわけではなくて、必ずそこには歴史があって、その歴史のめぐり合わせの中で、今の時代にこうすればかつてのものが生かされていくのではないかという。そういった意味で堺にも埋もれた資源というのがたくさんあると思いますね。</p> <p>今、この評議会でも行っていると思いますけれども、そういったものを皆で見つけて、今の時代にどうやってそれを生かしていけるかという。これはそういった歴史があるまちでしかできない、埋もれた資源があるまちでしかなかなかできないので、この事例を見ていただければ、堺にはもっともっと活用できるものがたくさんあるのではないかなというふうに思います。現時点では、ものが運営されている仕組みや、これをやろうという発想のきっかけであったり、そういったものがかなりここからは学べるのではないかなということで、これを機会に堺に置きかえたら、こんなところがこういうふうにしたらこうできるのではないかなということのひとつの部分になったらと思い、今回の視察を提案させていただきました。</p>
岡田会長	<p>質問ですが、テラス数が3から15に増えていくなかで抜けていくメンバーは出ませんでしたか。また、当初の立ち上げの思いと15になったときで何か意見のずれというか、そこは常に最初のミッションが中心にあって動いておられるんですか。</p>
間宮委員	<p>結局、経済的なことなので、当初は実験的に川床を出すということでした。そこに経済がついてきてたくさん人が来る。テラスに魅力があって、そのエリアに人が来るということで、初めは経済的に何も別に期待はしないのですけれども、お金が回っていくと色々な方がそこ</p>

	<p>に注目していき、発展はしていくと思います。しかし、最初のコンセプトがしっかりとそこにはありますので、店を出したかったら出せるかという、協議会に入って、そのなかでこのまちの活性化をすることが前提で参加していきますので、方向性がズれるというより、その協議会自体の内容がどんどん変わっていくわけですね。それをメンバーが増えたなかで常時、協議していくという仕組みになっております。</p>
岡田会長	<p>最初に規制緩和を府がしたと思いますが、行政というのは規制が源というか力のひとつですけれど、この場合はたまたま府がそういうことを考えてやったということですか。</p>
間宮委員	<p>いいえ、これは当初の立ち上げメンバーが自分たちで府に申請をして有効地利用をさせていただいき、実験をしたということですね。</p>
岡田会長	<p>先に事業があったわけではなく、本当にボトムアップ型でそういう思いがあった。</p>
間宮委員	<p>そうですね。今15店舗ぐらいに増えて、今回は新しい実験として船着き場を建設してもらおう。それは大阪府にして頂きましたけれども、それを今度民営で運営していく内容を、協議しているところでその仕組みづくりがやはり一番難しいでしょうか。だから、すぐにできることではないですけれども、やはりその場所を決めて何か目標を持ってやっていく、色々な弊害が出てきますけれども、それを全て協議会でクリアしていくと、少しずつですけども発展していくのではないかなという気はします。</p>
岡田会長	<p>では引き続き、事務局から今回のテーマに関するモデル事業についての報告をお願いします。</p>
事務局 (川瀬主査)	<p>事務局より、資料3 大道筋まちのデザインc a f e (S O C I A L G O O D M A R K E T) 開催の説明。</p>
岡田会長	<p>空き物件の利活用というのがキーワードで出てくるといいますので、後ほど皆さんから意見をいただきたいと思います。</p> <p>引き続き、働きやすい環境の整備ということで、フィールドワーク</p>

<p>奥野委員</p>	<p>で訪問したタマノイ酢の報告について、代表して奥野委員から願います。</p> <p>私からはタマノイ酢の本社見学の感想と、あと、私が自営業として堺で働いている、働き方みたいなものを考えていることがあるので、簡単に話をさせてもらいたいと思います。</p> <p>まず、タマノイ酢の本社見学ですけど、5月に委員の皆さんと、本社のツアーのような形で色々話を教えてもらいました。まず、思いましたのが、健康的な食べ物という食品を売っている会社なので、社員がすごく太っているとか顔色が悪かったりしたらダメだと、そういう根本的な考え方で社内の色々なものをつくっていると。代表的なものがジムです。社屋にジムがある会社は珍しくはないのですが、運動を推奨していて、感心したのが、たしか利用していないとペナルティーが書かれたりするそうです。少し余計なお世話のような気もしますが、実際、実行力を出すためにはそれも仕方ないというかいいことではないかなと思いました。他には健康機器で血管年齢を調べる機械とかがありまして、意識を高める仕組みが色々あって、これだけやっていたら、健康にあまり興味ない社員がいたとしても少しずつ感化されるのではないかと、非常にいいなと思いました。</p> <p>もうひとつの特徴はデスクに個人パソコンがないということです。これは結構すごくて、つまり自分のメールアドレスもないわけで、共用パソコンにメールが届いて、それをみんなでそこから返事をする。だから、工場からも共用のパソコンにメールが届き、それを何々さんにメールが来ていますよと教え合うような仕組みになっていて、何か目からうろここというか、今や個人アドレスは当たり前の時代ですから、すごいことをしていると思いました。その結果として、若手社員が、アイデアをばんばん出してくる風土があり、入社2年目の社員が開発した商品もあるということを知ってすごいなと思いました。</p> <p>見学を通じて思いましたのが、根本的にレクリエーションとか、気晴らしとか、気分転換とか、レクリエーションというのはクリエイションの再創造みたいな意味なので、そういうことをよくわかっている人がつくっているなと思いました。</p> <p>もうひとつは、ITとの距離感ですね。インターネットで何か調べものを始めると1、2時間すぐに経ちますが、あまり使い過ぎない方がいいというのはよく言われていることで、そういうことをきちんとできている。これもパソコンが机にあるとつい触ってしまうので、</p>
-------------	--

このように共用するというのはすごく賢いと思います。

共用すると何がいいのかというと、先程のメール来ていたよとの話ではないですけど、お互いが何をしているかわかりやすいというか、工場とこういうやりとりをしていると、お互いに、自然と色々わかるし、別に覗き見しているわけでもないで、なぜ知られているともならない。個人の仕事の状況がわからないような雰囲気を予防していると思います。そういう意味でも残業も少ないという話でした。パソコンに触らないようにすることにして自動的に業務も効率化されているように思いました。

会社でも官庁でもそうですけれど、本音と建前みたいな文化があり、今日もニュースで障がい者雇用の水増しを、それを本来監督する立場の官公庁がしていた。新聞社などでも働き方改革とか書いているけれど、新聞社自体が物すごく非効率な残業をしている会社でしたり、こういうのは沢山ありますけれど、この会社は、その辺りをきちんとやり切っているなど、表面的にはやり切っているとすごく本気度を感じました。

前に読んだ本で、生き心地のいい街という本がありまして、当時、日本で一番自殺率の低い徳島県海部町の話です。どうして自殺率が低いのかというのを社会学者が調べるといって、ルポルタージュみたいなものですが、そこにありましたのが「病、市に出せ」という格言があるという話でした。これは悩んでいることなどがあれば、それを人に言ってしまおう。身内が病気で悩んでいるなら、それをまちの人たちみんなと共有してしまう。そういう文化があるから悩みが少ないと。だから、やはり社内でも色々どうでもいい話をするような文化がないと精神的にもつらく、暗くなってくるのだろうと考えます。

もうひとつ最近読んだ本で「仕事と家庭は両立できない？」という本で、著者はスローターさんというヒラリー・クリントンのブレンみたいなことをされている教授が、大体は、家庭か仕事かとなりがちで、そこを頑張れば両立できるよと一般的には言われているけど、そこまで簡単じゃないと。逆にケアを、ケアというのは介護や育児ですけど、それはどちらかと言うと生産的な仕事じゃないと思われがちだけれど、実はものすごく大事なことで、企業で競争することと同じぐらい価値がある。しかも、ケアの仕事に従事した体験は必ずその人の成長になって企業でも活躍できる人になるということを書いている本でした。だから、タマノイ酢の健康経営みたいなものは、要するにケア的な思想ですね。自分の世話を自分でする。自分のケアをしなが

	<p>ら自分の働き手としての能力を確保していくみたいな話で、色々考えさせられました。</p> <p>結局、これもすごく当たり前の話ですけど、睡眠と食事と運動という最終的には小学生の生活指導みたいなレベルになるわけですよ。仕事がかどらないとか、上手くいかないことは沢山ありますけれど、この3つさえきちんとできていれば、どこかで底打ちしてまた回復できるのではないかと思います。</p>
岡田会長	<p>テーマというのは働きやすい環境整備の、環境の大きな仕組みをどう変えていくのかという話ですね。今回お話いただいたタマノイ酢の事例や、個人の働き手が働きやすい環境を考えたときに、タマノイ酢では、自分自身へのケアを通じて他者のケアへの発想の展開を色々考えて、本人のメンタルヘルスにもいい影響を与えるというような。そのためのジムであったり、色々な仕掛けを社内の中に作っているというひとつの取り組み、もしくは、ひとつの挑戦なのかもしれません。すべてが上手くいっているかは不確かですけども、やり方のひとつと思います。</p> <p>他に何かありますか。</p>
奥野委員	<p>身体を壊しながら必死に働くのが格好いいみたいなカルチャーが日本の会社にはありますよね。そういうのをきちんとトップから否定するのはなかなか、できそうでできないことだなと思いました。意識の問題だと思いますね。いくらジムがあっても、そういう文化だと絶対使われないですし、そういうふうに旗を振っている人が偉いなと思いました。</p>
岡田会長	<p>タマノイ酢は有名な社長ですね。今回議論いただくところはそういう個別の取組の変化を促すというところまでいかないかもしれませんが、色々なご意見をいただきました。これまでの議論でも、起業や就職をしたい人をどのように増やしていくのか、その環境をどうつくっていくのか。地元企業に対して働き方、今のように他社の事例があるわけですが、そういう改革を促していくことや、投資のこと、先ほど事例で出していたいただいた空き物件の利活用であるとか、以前から話題に出ている職住近接であるとか、そういうキーワードがこれまでの検討のなかで出てきたかと思います。</p> <p>色々と思いつかないといけないところもあるかと思いますけれど</p>



	<p>も、何か意見がございましたらお願いします。</p> <p>今の奥野委員のようなお話であったり、ハードのところでも変えていけば良いのではないかとということでもいいし、具体の起業というところでこういう環境整備とか条件整備とか規制が緩和されれば良いとか。起業と言っても、先ほどの事例でもソーシャルビジネスですね。必ずしも利益追求型ではなくて、社会の課題を解決していくために、利益は出ないぐらいのなかでビジネスを展開していくひとつの取り組みですね。ここの地下の森のキッチンも、ソーシャルビジネスのひとつのあり方だと思います。精神障害を持った方が生きがいを創出し、必ずしも利益がある訳ではないと思いますけれども、ひとつの生きがいの場所をつくっていく、それが堺区役所、堺市役所のひとつのシンボルに今後なってくるのかなとは思いますが、そういう起業というものひとつあるのかなとは思いますが、何かございましたらお願いします。</p>
湯川委員	<p>この「SOCIAL GOOD MARKET」に出店させていただきました。この開催の準備がすごく大変そうで、かなり手作業、手づくりで進めていました。古い建物なので階段が急だったりして、車椅子の方もいらっしゃったのですけれど、男手4人ぐらいで上がったりとかはできましたけれども、やはり古いビルだからこそ、いい面と悪い面というのがすごくあると思いました。やはり最初のコストはもちろんかかりますし、やり続ける運営コスト、3階建てなので、建物の管理や維持もそうですし、具体的に何をしていくかによってもいろいろ変わってくると思いました。ビルを借りるとなると個人とか任意団体では難しいのかなというのがあり、法人格を取っていくなかで、どの法人格が一番適切なのかという辺りもすごく気になるなと思いました。運営面もまちの活性化とかにつながっていくのであれば、何かそういうサポート的なものもあるほうがいいというふうに思いました。</p>
岡田会長	<p>先ほど事務局からの課題でもありましたが、要はあそこで何をしたいのかというか、1回であればそれでいいとは思いますが、常にここでの議論でストーリーというか、色々な歴史でも、堺の環境のこれまでのものでもいいのですけれども、その中でそこで何をしたいのかというビジョンが、今のところは継続的にそれができるのかなということころが課題なのかなとは思いますが、今後そういうことは先程のNPOやSOCIAL GOOD SAKAIのメンバーの方が考えていか</p>

<p>間宮委員</p>	<p>れるとは思いますが、かなり色々御苦勞をされるのではないかなとは思いますが。あとやはり金銭的なことですね。</p> <p>全体的な考え方ですけれども、視察をしたりモデル事業をしたり、また働きやすい環境を視察していったりと、色々皆さんで活動を進めていますけれども、その報告ももちろん大事ですけれども、折角、そういったところに視察に行ったものをどうしたらこの堺の堺区で生かせるかということもやはりひとつずつ何か検証しながらアイデアをつくっていかないと、ただ見ただけではなかなか次の発展にならないと思います。多分そこには色々なチャンスとか発見があると思いますけれども、例えば今お聞きした大道筋のデザインC a f eなどは空きビルでしたよね。先ほどの北浜のテラスもあまりにぎわっていないくて、川辺は汚く空き店舗がたくさんありましたけれども、テラスをつくることによって、活性化されてきたと。では、大道筋のこういった空きビルのところに、もちろん店舗や何かを誘致するのは大事ですけれども、ただそれだとなかなかひとつのきっかけにならないと思います。</p> <p>例えばこれを、大道筋を川に見立てて、歩道が広いので、例えば店舗を出すと一番端の車道側の歩道に占用でテラスが出せるとか、ちょっと床を上げてウッドデッキをつくる。何かそういう行政との仕組みをつくってしまうと。そこにテラス席が設けられてパラソルが立っていてそこでお茶を飲め、そこで少し買い物もできるという、そうするとチンチン電車が通っています。北浜の場合は船からみんな手を振ってテラスの人が対応してすごくおもしろいコミュニケーションができています。チンチン電車を船に見立て、今のままだと店舗はなかなか見えないですけども、テラスがあると人がいるのが見える。何か今の大道筋をこういうふうに、北浜の事例を少し変えてみて考えるとそんなことができたりする。</p> <p>奥野委員に色々話していただいたように、タマノイ酢という堺を代表するひとつの企業ですよ。それはやはり食を主にやっている。では、堺には食に関したものに包丁がありますよね。何かそんなものが結びつくと、健康に結びついて、また健康になるためには堺の産業である自転車もと、本当に堺は色々なコンテンツがたくさんあるし、歴史もあるので、それをいかにつなげていくか、それをどうやって実現するかということをもう少し何か皆で具体的にアイデア、それはできなくてもいいと思いますけれども、そうすることによって、色々見たり、考たりしていただいたものがもっと活性化していけるのではない</p>
-------------	--

<p>岡田会長</p>	<p>いかなど。本日、全体を聞いてみて何かそれをこの評議会を進めていくのもひとつかなというふうに感じました。</p> <p>具体の提案は、引き続き考えていかないといけないと思います。視察していただいた事例の報告ですが、民間主導で色々考えて、極力行政からの意見とか関与というのはなかったというようなことであるとか、先程いただいた空きビルを利活用して、全体に別につなげていくのかとか、今まで色々なご意見をいただきましたが、どう生かしていくのか、発見・チャンスみたいなものを具体の取組をどうつなげていくのかということで引き続きご意見いただいて、整備をしていきたいと思います。その主人公というか、その考えの主体というのはやはり地元の人でないといけないのかということは、それが企業や、地元の住民や、商店であるというのが共通したことで出たと思います。また整理をして事務局のほうで答申案に盛りこんでいけたらと思います。</p>
<p>岡田会長</p>	<p><b>3. 第3回堺市堺区区民評議会 閉会</b></p> <p>それでは、第3回堺市堺区区民評議会を閉会いたします。引き続き19時から堺区選出議員との意見交換会を開催したいと思います。</p>

堺区選出市議会議員と堺区区民評議会委員との意見交換会 議事録

開催日時	平成30年 8 月30日（木） 午後 7 時00分から午後 8 時00分
開催場所	堺市役所 本館 3 階 大会議室 1 ・ 2
出席委員	岡田会長、川上副会長、奥野委員、貴志委員、北野委員、隈元委員、矢本委員、湯川委員
堺区選出市議会議員	井関議員、上村議員、裏山議員、成山議員、湊上議員、山口議員
事務局職員	堺区役所 西本区長・泉森副区長・福田保健福祉総合センター所長 大黒企画総務課長・藪課長補佐、岩野主査、川瀬主査
議 題	1 開会 2 意見交換会 3 閉会
資 料	次第、堺区選出市議会議員名簿、堺市区民評議会委員名簿、配席図 資料 平成30年度審議の経過

議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
	<b>1. 堺区選出市議会議員と堺区区民評議会委員との意見交換会 開会</b>
大黒課長	<p>それでは定刻でございます。堺区選出市議会議員と堺区の区民評議会委員との意見交換を開催いたします。携帯電話につきましては電源をお切りいただくか、マナーモードにさせていただきたいと思ひます。</p> <p>条例に基づきまして、この会議につきましても写真撮影、録音等させていただきますので、ご了承いただきます。</p> <p>なお、堺区選出議員のうち、大毛議員と西村議員につきましては、本日公務のためご欠席。あと山口議員は、他の公務につき、後で来られるということをお伺ひしております。</p> <p>また、区民評議会は碓塚委員と木下委員、小池委員と松壽委員につきましては今回ご欠席。あと間宮委員も用務のため退席しています。</p> <p>それでは、初めにご出席の方の自己紹介をお願いしたいと思ひます。まず岡田会長から席順にお名前のほうをお願いしたいと思ひます。</p>
岡田会長	<p>会長を引き受けさせていただいております関西大学の岡田と申します。よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
川上副会長	<p>副会長をさせていただいております、NPO法人堺観光ボランティア協会の川上でございます。よろしくお願ひします。</p>
隈元委員	<p>堺観光コンベンション協会の隈元でございます。よろしくお願ひいたします。</p>
矢本委員	<p>堺東駅前商店街の矢本と申します。よろしくお願ひします。</p>
湯川委員	<p>NPO法人SEINの湯川です。よろしくお願ひします。</p>
奥野委員	<p>堺でライターをしております奥野と申します。よろしくお願ひします。</p>

貴志委員	貴志と申します。よろしくお願いいたします。
北野委員	山之口商店街でギャラリーいろはにを経営しております、北野庸子と申します。よろしくお願いいたします。
井関議員	堺市議会の井関です。よろしくお願いいたします。
上村議員	大阪維新の会堺市議会議員団の上村です。よろしくお願いいたします。
裏山議員	公明党の裏山でございます。よろしくお願いいたします。
成山議員	公明党の成山でございます。よろしくお願いいたします。
渕上議員	堺生まれ、堺育ち、生粋の堺の渕上でございます。
大黒課長	あと、最後に事務局のご紹介をさせていただきます。
西本区長	西本でございます。よろしくお願いいたします。
泉森副区長	副区長の泉森です。よろしくお願いいたします。
福田センター長	堺保健福祉総合センター所長の福田でございます。よろしくお願いいたします。
大黒課長	私、司会させていただきます企画総務課長の大黒でございます。 それでは、意見交換会を始めさせていただきます。これからの司会進行につきましては、岡田会長にお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。
	<b>2. 意見交換について</b>
岡田会長	あらためまして、こんばんは。議員の皆様におかれましては、本日はお忙しいところご出席賜りましてありがとうございます。堺区民評議会の会長の岡田と申します。

	<p>本年度は、今回と、次回の9月27日の2回にわたって意見交換をさせていただきたいというふうに考えております。今回お手元の資料にございます審議経過の中にも基本的な方向性が書かれているかと思えます。その3つの方向性に基づいたテーマで議員の皆様と区民評議会の委員と、意見交換と情報共有をさせていただけたらと考えております。</p> <p>議員の皆様自身が日ごろお考えの地域の課題について、今回テーマ別でご意見を伺いたいと思っております。</p> <p>本日は、区民評議会では、働きやすい環境の整備ということで1時間ほど話をさせていただいているところですが、前回は地域力の強化ということでテーマを設定してご意見をいただきました。議員の皆様におかれましても、今回働きやすい環境の整備と、前回の地域力の強化について意見を賜ればと考えています。次回9月は3つ目のテーマにもなるんですが、欠席される方もおられるかと思えますので、郷土愛を醸成というところについても、ご意見がございましたらいただけたらというふうに考えています。</p> <p>それでは、まずは事務局よりこれまでの取り組みや審議経過について報告をいただきたいと思えます。その後、議員の皆様から一人一人、テーマに沿ったご意見をいただけたらというふうに考えています。さらに、議員の皆様と区民評議会の委員で意見交換をと思っております。</p> <p>それでは、堺区区民評議会の審議経過の報告を事務局からお願いしたいと思います。</p>
事務局	事務局より、審議経過を報告
岡田会長	それでは、議員の皆様よりいろいろご意見をお聞かせいただけたらと思えます。まずは井関議員から順番にお願いできますでしょうか。よろしく申し上げます。
井関議員	こんばんは、井関と申します。審議も聞かせていただきまして、働いてよきに絞って、いろんな取り組みがされているんですけど、世界中の誰から見ても働きやすい、そういうふうにぜひしてほしいなと思えます。外国人もありますけども、例えば帰国子女であったり、全国から転勤して来たりというような人、そういう人にも働きやすいというような視点を入れていただきたい。私も堺で15年育った後、15年間、

	<p>東京と九州と神戸と行ってまいりましたが、何か一生懸命やればやるほど、その土地にもともといる人の意見が反映され、他から入りにくくなってなると難しい。今年度から榎校区の自治会長をしています。一生懸命やればやるほど加入率が減るという自治会の問題があります。楽しくやっており、中の人はいろいろと情報もやりとりされていますが、私の地区は、堺東や三国ヶ丘の駅もあり、交通の利便性が高いので、堺市のなかでも他のところからいろいろ来られます。近畿一円であったり全国であったり、そういった点は私は好きだし価値があると思っています。わざわざどこかへ行ったりとか、英語を勉強したりとか、何かの専門的なことを学校で聞く以上に、近所にそういう人がいるとか、知り合いのお父さんがそうとか、そういったことのほうが自分自身の人生を振り返ってもより実感があると思いますか、またそういったことが堺に住んでいる子どもたち、大人であれ将来を切り開いたり、ビジネスを切り開いたりできると思います。今日の審議で、奥野委員が、フリーランスのしんどさといいますか、精神的な部分を全部引き受ける、そういった人も暮らしやすく、仕事もしやすいような環境を提供される、国内外からいろんなアイデアとか持っているけれども、まだ事業には至らない、メリットもあれば足りないところもある人でも集えるようになって、それが新しい社会を切り開いていくというふうなことに私は期待したいなというふうに思っております。</p> <p>以上です。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは引き続き上村議員お願いしたいと思います。よろしく願いします。</p>
上村議員	<p>こんばんは、上村です。今回のテーマは働きやすい環境を整備して、起業しやすいまちづくりという非常に難しいテーマを議論していただいていると考えております。本当に働きやすい環境を整えて、起業しやすいまちづくりって自治体がどうやってやっていくかと言ったら、まずは補助するか、それか場所を提供するか、それとも規制を緩和するか、この3つしかないと思います。これらを3つがあわさってこそ本当に起業しやすい、働きやすい環境づくりができると思うんです。決して今の自治体がこれをやってないわけではないのですが、うまく機能していないところに問題があると思います。なぜ機能しないかという、ここで言うと働きやすい環境とか、先ほどの奥野委員の自分</p>



	<p>自身がどういった働き方をしていくかということ、そして体調づくり、そういったことがやはり必要であって、それとハード面、箱って言う と変ですけども、場所がこの場所でいいのか、この両方重なってや っと企業というものがうまくいくと私は感じています。</p> <p>パソコンに例えると、ソフトがどんどん発達しても、ハードが追い 付かないと、それが動かないという状態があると思うんです。スマホな んか特に、新しいアプリが、本体が古い機種では急に動きにくいとか 感じられていると思います。そういった状況が今回のテーマでもある のかなと感じています。</p> <p>それらを取り除いていく。取り除ける部分は取り除いていく。自治 体としてできる部分は進んでやっていくべきであり、そして、視察先 の北浜テラスなど、今まで自治体は見向きもしなかった土地を民間が 有効的に転換できているといういい例もあると思います。そういった 事例は大阪では多くやられていると思っています。大正区でも護岸に ビアガーデンをつくったりもしたり、さまざまな、大阪では割とこう いった水辺に対して非常に熱心に取り組んでおられてると思うので、 やっぱり堺でも必要性のあることなのかなと思っておりますので、市 が持つ有効活用できる土地について、もっと自治体としても、我々 も含めて緩和できるような施策を打っていければと思っております。</p> <p>以上です。</p>
<p>岡田会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほどは空き家だけじゃなくて空きスペースというか、そういう遊 休地をいかに活用するのかという、議論に沿ったご意見でありがたい です。</p> <p>引き続きまして裏山議員お願いします。</p>
<p>裏山議員</p>	<p>こんばんは。私ももともと議員をする前はサラリーマンをしており、 ものづくりの会社でしたのでずっと工場の中にいたのですが、堺はあ まり大きな企業というのは多くなく、ほとんどが中小企業のまちであ ります。堺区の場合は、特に臨海なんかも非常に特徴的な働く場所と してはあるわけです。私も臨海で働いていた一時期がありましたけど、 何となくつまらない、行き帰りが殺風景で、無理に仕事意欲を高めて 頑張ってたというようなところがありました。街中へ来ればいろんな ことがあるので、仕事終わったらあそこへ行こうとか、寄ろうという ことは当然あるわけですが、臨海ではそんなことは全然考えられなく</p>

	<p>なるというようなことがある。臨海は、もう少し充実できないのかなって思います。もちろん堺市民ばかりではないのですが、ひとつこれから何かできることがないのかなというふうに今思います。</p> <p>それと、働くからには通勤、移動がありまして、堺区はまだ高野線も本線も、それから阪堺線もあるのでいいんですけども、やはり東西のアクセスの問題。先ほどの臨海に行くには車でしか行けないですね。会社の車で行くか自家用車で行くか、タクシーで行くか、バスは本数が少ないというこういった交通手段しかないので、そういうところを公共交通が結べたらと思いますが、採算の問題でなかなか難しい。そういった点も踏まえて、堺においては当然南海バスさん、事業者さんともう少し何かできることはないか、もっと移動が楽になればもう少し働きやすい場所になってく、また楽しみがある場所にもふえればいいと、こういうことを感想として持っております。</p> <p>以上です。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、引き続きまして成山議員お願いしたいと思います。</p>
成山議員	<p>私のほうからは、地域力の強化とリンクしての、郷土愛の醸成のことについてです。最近の旅行者、海外・日本の旅行者問わず、知的な欲求というか、知的なことを知ることによる満足感を得るために来られることが多い。堺に来られて、知的な満足感が得られるかどうか。今海外の旅行者は高野山へ行って宿坊に泊まり、日本の文化を知ることによって非常に満足を得て帰られるというケースが多くて、これは国内の旅行者も同じだということです。私は、この地域力の強化ということは、この堺のことを、まずは堺の人が堺とはこんなにすごいまちなんだということを知る。そのことによって誇りが生まれてきますから、そういう誇りでまちづくりを行う。そういうことで、また観光客、来訪者にもそういうものを広げていくということが非常に大事かと思えます。そこから郷土愛が生まれてくる。この本議会で堺茶の湯まちづくり条例が上程されてまして、今議論に入っています。それで茶の湯がなぜ堺に生まれたのかとすこし調べました。そうしたら非常に深い、いろんな自由自治のまちでもあり、町衆文化でもあり、いろんな多文化が入ってきて、そういう人々のるつぼの中から全く新しい文化が生まれた。お茶を飲むということを根幹にしたまちですから、こんなまちは世界中にない、そういうすごいまちだということ、い</p>

	<p>ろんなところで市民の人にもわかってもらい、茶室の中で四季折々の花を生けたりとか、非常に洗練された美意識を持てる堺ですから、それをもっともっと広めたい。小学生がガイドしたとありますけど、そういうかたちで堺の人にも知ってもらう。そうして海外の人にも、日本の旅行に来た方々にも堺の深さを知ってもらおうということが、地域力の強化、また郷土愛につながっていくだろうと、今そんなことを考えております。</p> <p>以上です。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございました。また後ほど堺茶の湯まちづくり条例について詳しくお聞かせいただけたらと思います。</p> <p>それでは、漧上議員お願いしたいと思います。</p>
漧上議員	<p>ソレイユ堺の漧上です。先ほどの審議の感想も含めて述べたいと思います。</p> <p>視察の北浜テラスや、モデル事業のデザインC a f e、大変興味深く拝聴いたしました。特に北浜テラスを、堺ならどうなるかなと思いつつ聞いておりました。内川じゃどうかなとか、あるいは間宮委員がおっしゃった大道筋、あるいは私は大小路もいいと思います。</p> <p>その中で真っ先に思いつきましたのが、やはり環濠都市北部地区の町家です。歴史的建造物が集まっておりまして、その中で活用されていない空き家もたくさんあります。そこにオフィスやショップを誘致できないのかなというのを感じました。当然、今ですら使われてないので何らかのてこ入れが必要です。ご存じの方も多いと思いますが、北部地区の歴史的建造物の修景には堺市が最大500万円出しているんです。建物を維持していくのに一番いいのは人が使い続けることです。一番いけないのは空き家になって、誰も使われてないということです。ですから、きれいにするのに500万円使うんだったら、このまま放っておくとぼろぼろなるというものに、人に使っていただいて維持することに500万使っても、極端に言えばいいんじゃないか。そんな感想を持ちました。そういう発想で補助金の使い道を変えて、人に使っていただく、活用していただくという道筋をつけられないかなということを考えました。</p> <p>もうひとつ、働きやすさに関連する堺区特有の問題として、伝統産業の後継者があります。刃物の工場とか暑くて大変でなかなか続かないという中で、先日、ある刃物屋さんで、若い職人さんもいっぱい</p>

	<p>るし、たくさん皆さん辞めずに続いているという刃物屋さんがありました。何をしたんですかというのを社長に聞きましたら、まずは建屋をきれいに、おしゃれにきれいにした。そして、工場を清潔にした。そして、休憩や会議をするスペースをものすごくおしゃれにした。ソファーとか、いろんな柄でおしゃれにした。なるほど、今まで役所が伝統産業の後継者育成という、数年間のサラリーを一定保障したり、あるいは技術を教える道場をやったりとそういうことばかり浮かんでいたんですが、今どきの働きやすさってお金だけじゃなくてそういうきれいさとか心地よさとかそういう空間が大事で、伝統産業というのは得てして真逆にあるところが多いので、そういうところを行政が少しサポートしてあげるというのも大事かと感じました。これは堺区特有に近い問題として感じた点でございます。</p> <p>以上です。</p>
<p>岡田会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>議員の皆さんの意見を受けて、区民評議会の委員の皆さんからもご意見いただけたらと思うんですが、いかがでしょうか。</p> <p>まずは副会長の川上さん、お願いしたいと思います。</p>
<p>川上副会長</p>	<p>では、茶の湯条例のお話が先ほど出ました。茶の湯条例というのは日本中あちこちにごさいますて、全部お茶売るための条例なんですよね。堺だけが、茶道というか茶の湯の精神を表面に出すということで非常に変わってるというかおもしろい。それこそ堺やなということで、その条例が通った後、茶の湯条例が堺にできたということをどんどんニュースで発信してほしいと思います。</p> <p>高野山に外国の方がたくさんこられているという話、これは行ったら実感でわかります。ところが、例えば大仙の拝所前に立っていますと海外の人たくさん来られますよね。不思議なのが、この2、3年フランスの方が多いです。それで少し調べましたら高野山もフランスの方が多いらしいです。ということは、高野山に行ったフランスの人は何パーセントか堺に来てるんですよ。そういうようなアプローチで、高野山と仁徳陵は同じ南海高野線ですごいなと思ってます、そういう時代が来るのかなとも考えてます。</p> <p>地元をまず知る。前は小学6年生にガイドをしてもらいました。練習や授業をしているときは、これではガイドは難しいとの印象でしたが、子供たちの、本番ってすごいなと思いました。そういうことか</p>

ら始めて、今度は小学3年生もすることになりました。堺区の他の学校もこの事業に興味を示しまして、堺区役所を通さずに直接、観光ボランティア協会を訪ねてきた学校もごぞいます。今後、地域愛を醸成するためには有効的な手段の一つかなと思います。

それと、北浜テラス視察の話もたくさん出ました。それ以外の先進事例についても、私が行けてないところもあるし行ったところもありますが、相対的には代表者であったり、基幹者の人が非常に熱意が圧倒的に強い。しかも粘りもある。それが続いている、粘ってる間に仲間がたくさん増えて、複数人で運営していかないと難しいかなと思います。その運営をどうするかというのは、自然に行っていけばいいですけども、先ほど言っていた自治体が機能してなければそれはやっぱり続かないんじゃないかという気がします。単発でぼつんぼつんとするのはなくて、イベントをやるなら面で、例えば大小路でも大道筋でもいいのですが、阪堺線の一駅分ぐらいを一気にイベント会場にする、イベントやって本当に成功するのかどうかを確かめてから、ひとつひとつ個別のものつくっていったらいいんじゃないかなと。それは違うということなら代案を教えて頂けたら検討したいと思います。

仕事しやすいと暮らしやすいではニアイコールというお話、井関議員からお聞きしました。若い人ってお金じゃない、仕事の内容がよかったらええねんという人、結構おられます。給料なんてそんなに変われへんから仕事の内容が大事やということを主張されますので、仕事のまず内容を整備する。それともうひとつは会社にどれだけ誇りを持てるか。フィールドワークでタマノイ酢へ行きました。ものすごいきれいです。誰が見てもここで働いてみたいなと思いました。臨海で言うと大阪ガスに行きました。関電も行きました。すごくきれいなんですけどね、見学のお客様が来るという、それは結構企業にとってはステータスなんです。だからそこで働いている人も嬉しいやろうかと、そういうのをしょっちゅう見てると自分の会社にも働いてる堺にも誇りを持てるようになるんじゃないかと考えました。

次に、もうひとつ歴史が埋もれているまちということを言われてましたね。確かにそういうことなんです、北浜があんだけ繁盛してる、でも北浜って、仁徳天皇がここ掘れ言うてつくった、運河にできた町です、できたときには人が来る。洪水はおさまった。港ができる。いろんなものが入ってくる。警察もできた。上町台地が真ん中に溝掘って、北向きの浜だから北浜とつけたと言われてますが、それが今、活

	<p>性化されています。堺もそういう場所があるので、行政の力も借りながら発展させていけたらいいかなと。</p> <p>皆さんの意見集約してしまって申しわけないですけども、お聞きしていてそのように感じました。</p>
岡田会長	ありがとうございます。本当に仁徳天皇があれなんですか、北浜の。
川上副会長	そうです。掘ったんですよ。
岡田会長	本当に聞き入ってしまいました。ありがとうございます。 それでは、他の委員でご意見ありましたらお願いします。
	(山口議員が到着)
山口議員	<p>すみません。遅参いたしました山口でございます。こんばんは。働きやすい堺区、堺市にするために、もう既に議会等でも私自身がいろいろ提案させていただいてきたことがあります。ひとつは、今、企業が日本は人手不足だと言っている一方で、若い方々や女性の方々は働き口が無いと。堺のハローワークを調べますと、実は求人に応募している方はたくさんいらっしゃるんですが、その中で一番多い希望職種が事務職って言われます。その事務職の内訳というのが、企業が求人をしている、求めている人材。私、人材という言葉あまり好きじゃないんですが、企業が求めている事務職の能力と私は事務職に就きたいと思ってる方々とのギャップがあるということがわかりました。</p> <p>それともうひとつはやはり働きやすいためには子育てがしやすいということが、皆さんおっしゃったと思いますけどあります。国は私立の幼稚園児を募集されるこの10月から、認定こども園や、既存の保育所、あるいは幼稚園、いわゆる就学前の子どもたちを預かり方の法律を変えようと、仕組みを変えようとされているけれども、肝心の保護者の方々にはわかりにくい。あるいは、保育の無償化と言いますが、よく高校でも私立高校無償化とか言ってますけど、実際には無償化というのは決してタダじゃないんですね。無償化というのがあたかも全てが無料になるというふうにちょっと誤解をされているところがあって、実際これから待機児童解消のために子どもたちの預かり方が変わっていくんですけども、何かしら私自身はそこで、お父さん、お母さん、そら働かなあかんのはわかるんやけど、実際いつ子育てするの</p>

	<p>と。朝7時から晩の11時まで預けて、保育時間が長い方々のほうが保育料が安くなるというような仕組みに変わっていく。そのときに、家族、親子、教育の問題ですね、あるいは地域愛の前に親子愛というのをどこで育ていくのかなというような、ちょっと今、大きな疑問を持っています。</p> <p>それと同時に、この仕組みが変わっていく中で、置き去りにされる子どもたちが出てくる。堺市も、保育、就学前教育を民間委託、民間の方々に任せていく、それはそれで財政上の状況で仕方がないのかもしれないんですけども、そこで置き去りにされているのが、障害を持った子どもたちや支援を必要とする子どもたち。あるいは、病児、病後児の子どもたちですね。そういった子どもたちが民間、私立になってしまうと預かりにくいというような状況が出てくると。だから、ひとり障害のあるお子さんを持ったお母さんやお父さん方というのは、どちらかが働けなくなったりしているという現状があります。だから、企業との求人のミスマッチというのを堺市がどのように埋めていくか、これはやはり働きたいと思っている方々のニーズと企業のニーズのマッチングというのをこれからうまくやっていただけたらと思います。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございます。働きやすい環境づくりというところで、家庭というか、子育てという視点からご意見をいただいたということで、またご意見をお願いしたいと思いますが、区民評議会の委員からもご意見いただきたいと思うんですが、それでは指名してもよろしいですか。</p>
川上副会長	<p>今の事務職の反対って営業職ですか。事務職以外って何でしょう。</p>
山口議員	<p>サービス業や介護職ですね。</p>
岡田会長	<p>大学の女性の、私の勤める大学でも、女性の希望する職種って事務が多いですね。でも、実際には正社員で事務を雇用しているところって少なく、パート・派遣・契約というところで、なかなかそこでミスマッチが起きる。女性の意識の問題もあるのかもしれないですけど、本来は能力もあって様々な働き方ができるのに、あえて事務職に固執して志望するということもいろいろ変えていかないといけない。我々教育する立場もそのように思っているんです。</p>

<p>隈元委員</p>	<p>では、隈元委員お願いしてよろしいですか。</p> <p>議員の皆様方からお話をたくさんお聞きし、これを区民評議会の中でどこまで話ができているのかということ为先ほどからずっと考えていました。3つの大きなテーマ「地域力の強化」と「働きやすい環境の整備」「郷土愛の醸成」についてですが、「働きやすい環境の整備」についてはすこし難しいので後に話をさせていただくことにします。「地域力の強化」と「郷土愛の醸成」についてですが、私は堺観光コンベンション協会の副会長ですが、いろいろなお祭りや人が集まるイベントは、堺区での開催が1番多く、他の6区に比べると突出しています。協会としては、他の区でもいろいろと催しをしていかななくてはならないと思っていますが、この堺区の中でのイベントにおいても、もっともっと人がたくさん来ていただいて、にぎやかになるようなものやっつけていかななくてはならないと思っています。堺東と山之口商店街、それから堺駅と、大きく分けると3つのエリアに商店街があるので、この3つがうまく連携されて、面で賑わえたらいいなと思ってます。そういうなかで、私は、堺区の大道筋のチンチン電車沿いの風景、特に夕暮れの雰囲気は個人的には大好きです。今回、大道筋でモデルケースとして空き家物件1件でイベントをおこなったということですが、先ほど間宮委員がおっしゃっていましたように、チンチン電車のレール沿いを北浜の川に見立て、チンチン電車を船に見立て、大道筋沿いにいろんな店舗が出店し人が集まりにぎやかな街になるということを目指し、まずは1日あるいはワンプロックでもいいから、面で企画をしてはどうか、それが山之口や堺駅や堺東へ広がるようなことができないか、など先を見据えて、各種イベントを堺区と一緒にやっていくというのもおもしろい仕掛けかと思えます。そういうところで、大道筋沿線沿いのいろんな旧所名跡等含めて皆さんが勉強して知っていただくというのもひとつの方法ではないかと思いました。</p> <p>もうひとつ、「働きやすい職場環境」といったところでは、実は、私、堺経営者協会の専務理事をやっているんですけども、先ほど淵上議員がおっしゃってましたが、堺は小さな会社が多くて、今回視察されたタマノイ酢さんのように会社がきれいで働きやすいというところは少ないと思います。山口議員もおっしゃってましたが、例えば、企業主導型保育施設をどうやってつくっていくのか、堺市も補助金を出していますし、府の補助金とか、国の補助金とかも言いながら仕掛けていくということもやっつけていかななくてはならないと思います。できるだ</p>
-------------	--



	<p>け女性が働きやすい職場づくりというのも、各企業に言っていかななくてはいけないのですが、なかなか資金力のあるとか体力のある会社が少ないといったところもあり、この点が堺の中では難しいところかなと思っています。働くためにはそういう環境づくりをしていかななくてはいけないということを、この区民評議会でもそうかもしれませんが、いろいろな形で堺の各企業に説明することによって、環境を変えていくということを底上げしていくことが必要なかなと思っています。</p> <p>雑多な話で申しわけございません。以上でございます。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございます。区民評議会の委員からの発言をさせていただきましたが、議員の皆様からも何かご意見いただければと思います。今の発言を受けてでもいいですし、先ほど話し足りないというところであれば、また追加でお願いしたいと思うんですが、いかがでしょう。</p>
裏山議員	<p>毎年夏に党の研修がありまして、今年はそこで大阪観光局の理事長が非常に堺のことを、大阪府全体の話のなかでも、堺の包丁の話をお話してくださいました。包丁は観光の非常に強い資源になると。1本100万円で売ったらどうかとかいうところまで、いろいろとお話されてました。堺の人間にとっては、ここは当たり前やというふうに私なんかも思っておりましたけれども、外から見ればまだまだそこに価値があるのかと思いました。もちろん万博とか、それからI R、大型リゾートの話もありますけれども、そういったこれからの大阪全体のひとつの牽引力となるそういう事業をされていくその理事長としても、非常に堺に魅力を感じておられるなというふうに私は思いましたので、そういう意味ではもう一度我々が当たり前だと思うようなことを、先ほど茶の湯の話もございましたけれども、外の人がどれだけの感じ方を持っているのかということを、議会なんかでも、もう少ししっかりと調整したり認識をしたりする必要があるなというふうに思った次第です。</p>
隈元委員	<p>溝畑理事長ですね。今大阪観光局と堺観光コンベンション協会で、非常に情報交換をやらせていただけてまして、人の交流もしております。おっしゃられましたように、大阪観光局というのは、梅田の北ヤードから始まって、I R、万博といったところ、そちらのほうに目が</p>

	<p>向いてますので、大和川以南のところについては、堺観光コンベンション協会になり、新しく泉州ツーリズムビューローできましたけれども、そういうところと話をしながら、大阪南部のエリアのことをよく知ってる我々がもっと盛り上げていかなくちやいけないなというふうに思っております。そういう意味では、大阪観光局とは情報公開しながら、より深掘りをするということで我々させていただいております。議員がおっしゃられましたように重々そこら辺よく理解しておりますので、これからもその方向性でやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
山口議員	<p>観光の隆盛というかたちで働きやすい場所をつくるということなんですけど、いろんな考え方あるのかもしれませんが、私自身は万博はともかくとして、I Rやカジノやというのが観光の目玉になるという考え方は間違っていると思います。今はそんなことを議論する場所ではありませんが、大阪府がそういうふうに考えているから、国がそういうふうに考えているからということよりも、堺が、世界遺産登録を目指している世界最大の前方後円墳、大仙陵、ほか百舌鳥・古市古墳群ですね。昨日もテレビでアイスランドのことをやりましたが、人口が違うとはいえ観光というものに関しても基本的に考えないといけないと思っております。I R・カジノなんかシンガポールなど、あたかも成功したようなところで、実際市民はどういう目に遭っているか、どういう問題が発生しているかを見ないといけない。海外ではI R・カジノの運営役員の人たちが、実は同時に大きな売春組織を運営していたということで逮捕されたりしている。そういった問題から見ても、女性の働き方って言っていて、働き先がそういうところであっては全く意味がないと私は考えております。堺区としては、隈元委員がおっしゃったように、川上副会長たちがずっと地道に堺の持っている財産をいろんな人に広げていっている。さきほどのアイスランドなんかは、もう国が破綻しかけたから、お金のかからないSNSで世界中から観光客を集めて大成功しているというような事例です。堺区も大道筋沿いに昔は温泉が出とったらしいですね。有名だったようですね、何か温泉が出ていた。鉄砲屋敷とか、こういう堺独特のものを世界の人たちが求めてくるんじゃないかなと私は思うので、既存の財産を有効にみんなが発信していけたらなと思っております。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございます。まだお時間ありますのでご意見いただけたらと思っておりますが、では、渚上議員お願いします。</p>

<p>渚上議員</p>	<p>温泉の話は、利晶の杜のそばの、かつて塩風呂丁と呼ばれたあたりに、漁師がお風呂に浸かりに来た。今の湊の塩風呂ではなく、利晶の杜そばにあった塩風呂丁というところが古い地図にも残っており、そのことかなと思います。</p> <p>大道筋で角から角ぐらまで、川上副会長がおっしゃられていましたことに関連してですが、思い返してみたら、私が子どもの頃は7のつく日に夜店がずらっと並びました。7のつく日だから月3回あるんですよ。それが5月の末から8月の末ぐらまで、3カ月間ぐら、7のつく日は必ず夜店が、それはもう1ブロックどころか、綾ノ町から神明町ぐらまで、2、3ブロックぐら夜店がずらっと並びました。覚えている方もいらっしゃるかと。それで子どもの頃はすごく7のつく日が楽しみで、その日になると自然と子どもたちが大道筋に集まるというような状況でした。いつごろからか子どもが減ったのかだんだん期間も短縮され、そしてなくなってしまったんですけども、要するに面で、しかも定期的に継続的にやる大事さというのを今改めて思い返しましたし、私も自分自身が振り返れば、大道筋という道が大好きだなと思う、まさに原風景みたいになっております。今からやるとなると、川上副会長も大変なこと言うなと思ったんですが、よくよく考えれば昔やってた話ですから、これはぜひ行政も力入れてサポートしながら、もちろんその中心になる方というのは絶対必要になるんでしょうけれども、無茶やと思わずに、ぜひ復活、夜店じゃなくてもいいんですけどもさせていただきたいなというのをお話聞きながら感じたところです。</p>
<p>岡田会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それじゃ、貴志委員ひとつご意見いただいていいですか。</p>
<p>貴志委員</p>	<p>働きやすい環境ということで、どちらかという今まで働くということに関して、新しい働く場所だとか、環境を掘り起こすようなイメージを持ってたところが多かったかと思うんですけど、今日、議員のお話を聞くと視野が広がったなという気がします。ひとつは伝統産業の後継者を育てるということは、それだけ働く、職住接近で働ける場所が増えるんじゃないかと。伝統産業も守れるしというすばらしい意見を聞いた。私、実は最近家の包丁が壊れたので、どうしようかなということ考えてみたら、マンションに住んでるんですけど、マンシ</p>

	<p>ヨンの前側と後ろ側に刃物屋さんがありまして、しかし、どちらも家でやってらっしゃるようなのですが、営業してるのか、見た感じ商売してるかどうか、まずわからない。入って見ると工場なのでほこりが立ったり、いろんな工具が置いてあったりという雑多な感じがするのですが、ここで若い新しい人が働きたいと思うかって言われると、ここよりは事務職かなと思います。これでは若い人がなかなか行かないだろうと。そうすると新しくきれいなところがあれば、伝統産業また復活するんじゃないかなと、新しいものを見出すと同時に、古いすばらしいものを引っ張っていくような環境も大事かなと。でも、刃物で言えば、伝統産業会館でなさってますけども、実演みたいな形でやってみるといのがおもしろいことかなと思っております。そういうところに研ぎに出しますと、すばすば切れるようになるし、本当すばらしい産業だと思っておりますんで、他に伝統産業会館、線香だったりとか、いろんな自転車だったり、確かに私たちがふだん当たり前やと思っていることが本当にすばらしいものやというのが改めてわかるので、そういったことのひとつ掘り起こし材料かなと思った次第でございます。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ちょっと話は違いますが、最近、物すごく珍しい資料が見つかったというふうに聞いたんですが、そうなんですか。うちの大学の文学部の日本史グループと学長が発見を聞いて公用車飛ばして行ったぐらいの何か大きな発表があったと聞いたんですけど、鉄砲か、それが結構大きな発見なんですかね。</p>
川上副会長	<p>そうですね。</p>
岡田会長	<p>それじゃあ、引き続き、まだご発言いただいてない北野委員お願いしていいですか。</p>
北野委員	<p>私がここの評議会に入らせてもらったのは、堺におけるいろんなアートの場面をもうちょっと強化できたらなと思ってのことです。美術館も、それからいろんなアートイベントも、よそのまちに比べて非常に少ない、そこのところどう改善していったらいいのか、アートの場面も働いてよしとか、住んでよしとかいうことの中に入っているのではないかなと思って、そこのところどう展開させていったらいいかな</p>

	<p>といつも考えているんです。</p> <p>少し前、数日間、東北を主人と旅行しまして、行く前に主人の好きな山登りを2つ、それから私の好きな美術館めぐりを3つか4つ、そして、最後に名勝の瑞巖寺。松島の景色と、それから中尊寺を周りました。こうやって目的を持って観光したときに、堺では皆さんどういいう目的を持って回られるかなって感じたときに、やはり仁徳天皇陵を見たいと思うんじゃないんでしょうか。それから時間的な余裕があれば刃物の産業などに関わるところへ行ってみたいとか、あとは自転車、図書館の横の自転車博物館、ああいうところも出てくるかなと思います。でも、染色の産業のほうはどう行っていいかわからない、そういうふう考えたときにもっといろいろ掘り起こしてやっていけることはたくさんあるだろうなど。埋もれたものを再発見して行って生かしていくということはもっともっとできるだろうなどというのが感想です。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>もう時間も終わりに差しかかっているんですが、何か最後に皆さんでこれだけは言いたいというものがあればお願いしたいです。</p>
矢本委員	<p>この働きやすい環境ということを知っていて、私はすごく疑問に思っていて、そもそも人それぞれ違うんじゃないのというところ思うわけですね。休みがたくさん欲しいという人もあれば、逆に仕事が楽しくて長く働きたい人もいますから、ひとくくりにはなかなかできないんじゃないかなというのと、じゃあ、仮に私たちや、行政が取り組むときにできることって、冒頭で上村議員もおっしゃっていましたが、例えば補助金出したりとか、規制緩和とか、そういったことの中で何ができるかとか、そこに絞り込んで考えていかないと、幅広過ぎて多分最後意見まとまらないんじゃないかなと思ってるんですね。もうちょっと違った視点で、最低限やっぱり人の命は守っていくだったりとか、メンタルヘルスの問題だったりとか、そういったところの取り組みは必要なんだろうけれども、山口議員もおっしゃっていたような、子育てのまちで、少子化で今後の長い5年後10年後、もっと言えば20年後30年後の堺だったり、日本を考えたときには、そういうところに対して取り組んでいくことが結果として働きやすいし、子どもも増えていって、人口も増え、まちとしては継続していけるというところだったりとか、何かちょっとそういうふうには振らないとし</p>

<p>岡田会長</p>	<p>んどいなというのをすごく話を聞いてて感じました。</p> <p>そうなんです。行政ができることというのは最大公約数、やることなんです。今、突き詰めていくと、やっぱり人それぞれ働き方も違いますし、多様な生活の中で生きていく、それを個別の取り組みとしてはダブルケアの問題とかいろんな問題があって、それはそれで支援をしていかないといけないですし、取り組みとして必要です。一方で、やっぱり最大公約数としての働き方の環境整備をどうしていくのかというのもひとつ課題なのかなと思うので、ひとくくりで議論はできないというのはおっしゃるとおりで、それはまた個別に、それを所管するところもあるでしょうから、そこはきちっと協同して行政のほうにお願いしたいと思うんですけども、我々が区民評議会でするところというのは、やっぱり個別の問題なのかもしれないですね。この堺区特有の課題であるとか、ダブルケアとか、少子高齢化に対応する問題というところが生活に身近なところでの課題なのかなと思うので、そこと乖離した課題を議論してもあまり意味がないのかなと思うので、そこら辺は引き続きちょっとご意見いただけたらなというふうに思っております。</p> <p>ちょうど時間になりましたので、まだまだお話足りないかもしれませんが、このあたりで終わりということで、また来月お話を聞かせていただけたらと思います。</p> <p>それでは、まず事務局にお返ししたいと思います。</p> <p><b>3. 堺区選出市議会議員と堺区区民評議会委員との意見交換会 閉会</b></p>
<p>西本区長</p>	<p>最後に私のほうからご挨拶させていただきます。</p> <p>堺区選出市議会議員の皆様、また区民評議会委員の皆様におかれましては、本日も貴重な時間を頂戴し、また貴重なご意見をいただきました。本当にありがとうございます。</p> <p>また、今、会長からもございますけど、来月、郷土愛の醸成を中心にまたこういう形で意見交換をさせていただきたいと思っております。堺区といたしましては、皆様の意見を踏まえまして、住んでよし、働いてよし、訪れてよしの堺区実現のため施策・事業展開してまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願いたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>

